

## 金 相烈

KIM, SangYul

教授

サステナビリティ研究所所長

所属…環境学部 環境学科

大学院 環境経営研究科 環境学専攻

sykim@kankyo-u.ac.jp

## ■主な担当科目

3R工学, 廃棄物処理技術, 応用化学概論

## ■研究者略歴

1998 (平成10)年 2月	ソウル市立大学工学部環境工学科卒業
2000 (平成12)年 9月	北海道大学大学院工学研究科資源環境工学専攻修士課程修了
2003 (平成15)年 9月	北海道大学大学院工学研究科資源環境工学専攻博士後期課程修了
2003 (平成15)年10月	北海道大学大学院工学研究科COE研究員
2004 (平成16)年 4月	オーストリアウィーン工科大学客員研究員
2005 (平成17)年 4月	北海道大学大学院工学研究科科学術研究員
2006 (平成18)年 4月	北海道大学大学院工学研究科博士研究員
2006 (平成18)年10月	北海道大学大学院工学研究科特任助教
2013 (平成25)年 4月	鳥取環境大学環境学部環境学科講師
2015 (平成27)年 4月 ~	公立鳥取環境大学環境学部環境学科准教授
2016 (平成28)年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻准教授
2021 (令和3)年10月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科/大学院環境経営研究科環境学専攻教授

## ■取得学位

博士(工学)(北海道大学)

## ■専門分野

廃棄物工学

## ■現在の研究テーマ

- ・廃棄物系バイオマスの利活用に関する研究
- ・焼却残渣の炭酸化処理による二酸化炭素の削減に関する研究
- ・廃棄物処理施設における合意形成(リスクコミュニケーション)に関する研究
- ・しいたけ形成菌のフタ材として生分解性プラスチックの開発
- ・海面埋立地の早期安定化に関する研究

## ■所属学会

日本廃棄物資源循環学会, 韓国廃棄物資源循環学会

## ■研究等活動

## 【著書】

- ・「環境汚染現場の修復 ~実務者のための新しいアプローチ~」(分担執筆), 2013年, オーム社
- ・「バイオマス地域循環 -再生可能エネルギーのあるべき姿-」(分担執筆), 2012年, 環境新聞社
- ・「不法投棄のない循環型社会づくり -不法投棄対策のアーカイブス化-」(分担執筆), 2009年, 環境新聞社

## 【論文】

- ・「コンジョイント分析に基づいた牛ふんスラリーの適正処理と資源化のための酪農家のニーズ解析:北海道東地域を対象として」(共著), 2013年, 土木学会論文集G 69巻
- ・「3次元数値シミュレーションによる修復対策後の地下水流動変化に基づく1,4-ジオキサンの拡散予測 -青森・岩手県境不法投棄事案の恒久対策を目指して-」(共著), 2012年, 土木学会論文集G 68巻
- ・「Compartment model of aerobic and anaerobic biodegradation in a municipal solid waste landfill」(共著), 2007年, Waste Management & Research 第25巻

## 【国際会議】

- ・「Effect of carbonation treatment of incinerator ash on the stabilization of offshore landfill」(共著), 2018年, The 10th Asia-Pacific Landfill Symposium in 2018 (APLAS2018), Tokyo, Japan
- ・「Promoting the use of a liquid fertilizer produced from municipal waste biomass in the eastern region of Tottori Prefecture based on an oral survey of liquid fertilizer users」(共著), 2016年, The 9th Asia-Pacific Landfill Symposium in 2016 (APLAS2016), HongKong
- ・「The evaluation of a liquid fertilizer recycling system in the Eastern region of Tottori Prefecture using Input-Output Analysis」(共著), 2015年, 3R International Scientific Conference on Material Cycles and Waste Management, DaeJeon, Korea
- ・「Development of Actual Tracking Method for Prediction of Drift Routes of Marine Debris Generated from Tsunami」(共著), 2014年, 3R International Scientific Conference on Material Cycles and Waste Management and SWAPI, Kyoto, Japan
- ・「A Study on Potential Improvement of Waste Manifest Systems For Establishing a Recycling-Based Society」(共著), 2013年, Proceedings of 2013 World Congress of International Solid Waste Association (ISWA), Vienna, Austria
- ・「A Comparative Study of Industrial Waste Manifest Systems in Japan and Korea for the Promotion of Proper Recycling」(共著), 2012年, Proceedings of 2012 World Congress of International Solid Waste Association (ISWA), Florence, Italy
- ・「A New Concept of Final Disposal Systems for MSW management Considering Storage of Recyclable Materials and Disaster Waste」(共著), 2012年, The Proceedings of 7th Asian-Pacific Landfill Symposium, Bali, Indonesia

## 【報告書】

- ・「焼却排ガスの活用による都市ごみ焼却残渣の炭酸化処理による温室効果ガス削減及び海面埋立処分場の安定化促進に関する研究」(単独), 2018年2月, 廃棄物の適正処理・水処理に係る調査研究助成, 大阪湾広域臨海環境整備センター
- ・「産業廃棄物不適正処理事案における環境修復の取組から得られたもの」~四日市市大谷知・平津事案のリスクコミュニケーションを通じて~(共著), 2016年3月, 三重県環境生活部廃棄物対策局
- ・「東日本大震災による漂流ごみの移動経路把握による二次災害防止に関する研究」(共著), 2013年~2014年, 環境研究総合推進費, 環境省
- ・「産業廃棄物マニフェスト情報の信頼性の確保と多面的活用策の検討」(共著), 2011年~2014年, 環境研究総合推進費, 環境省
- ・「バイオマスの利活用を基軸とした地域循環圏のモデル化と普及方策に関する研究」(共著), 2010年~2013年, 環境研究総合推進費, 環境省
- ・「不適正な最終処分システムの環境再生のための社会・技術システムの開発」(共著), 2007年~2010年, 廃棄物処理等科学研究, 環境省
- ・「三重県の環境修復技術システムの今後のあり方に関する研究」(共著), 2009年~2011年, 三重県研究委託

## ■社会貢献活動

- ・鳥取県表彰・認定審査会(鳥取県グリーン商品認定審査会)委員, 2022年1月~2024年1月
- ・鳥取県衛生環境研究所調査研究外部評価委員会委員, 2020年9月~2023年9月
- ・鳥取県東部広域行政管理組合 廃棄物等審議会委員, 2019年8月~
- ・公益財団鳥取県環境管理事業センター 平議員, 2017年6月~
- ・鳥取県東部広域行政管理組合 指定管理者選考委員会委員, 2017年5月~
- ・八束川クリーンアップ大作戦実行委員会委員, 2015年~
- ・三重県四日市市大谷知・平津事案に関する三者協議(学識経験者)(2011年3月より四者協議に変更), 2008年~